

藤田学園同窓会報

あけぼの杉

28号

藤田学園同窓会報
住 所 豊明市舊井町田楽
ケ建1-98
発行人 藤田学園同窓会報
編集委員会
発行日 平成20年11月20日

主な内容			
2面	3面	4面	5面
新就任 新教授就任 卒業生の活躍紹介 衛生学部40周年 医療科学部発足記念 医師からの便り 各報告・同窓会からの 活動報告・お知らせ	6面 恩師からの便り アセンプリ講演会 いこいの広場コンサート 同窓会総会報告 同窓会総会報告 学園祭 「獨創」一理賞「実施要項	7面 8面	

医療専門職の誇りにかけて



同窓生の皆さまにおかれましては、ご多幸を祈ります。医療専門職の誇りにかけて、医療の発展に貢献してください。

医療専門職の誇りにかけて

医療専門職の誇りにかけて、医療の発展に貢献してください。

日本一の医療系学部を目指して 六学科体制で発足

日本一の医療系学部を目指して六学科体制で発足

創立50周年記念事業—中間報告



藤田学園同窓会報

共感し考える「良き医療人」を育成



藤田保健衛生大学 学長 野村 隆英

「獨創一理」の個性ある
大学としての存在価値を高める



藤田保健衛生大学 医学部長 小野雄一郎

「獨創一理」の個性ある大学としての存在価値を高める

患者さんのためにと考え、次の世代に伝えていって動き、実際に話すところから始めることを大いに期待しています。「患者さん」の見解を聞いてみたいと思います。

平成19年度 藤田学園同窓会収支計算書

自 平成19年10月10日
至 平成20年10月9日

収入の部					(単位:円)	
科 目	予算額	決算額	増 減	摘 要		
会費収入 医学部	3,270,000	3,240,000	△30,000	医学部 108名 (H19年度入学生)		
会費収入 衛生学部	8,570,000	8,070,000	△500,000	衛生学部 269名 (H19年度入学生)		
会費収入 短大	3,840,000	3,840,000	0	短大 128名 (H19年度入学生)		
会費収入 看護学	1,950,000	1,950,000	0	看護学 65名 (H19年度入学生)		
				奨学金基金 20,000,000円		
雑収入	30,000	26,948	△3,052	新年会会費 17,000円 利息9,948円		
当期収入合計	17,660,000	17,126,948	△533,052			
前年度繰越金	4,214,538	4,214,538	0			
合 計	21,874,538	21,341,486	△533,052			

支出の部

科 目	予算額	決算額	増 減	摘 要
会議費	200,000	74,930	△125,070	総会、役員会等(7回)
助成費				
支部設立助成費	100,000	0	△100,000	
部会助成費	200,000	0	△200,000	
学術費	300,000	300,000	0	看護医療学会セミナー支援(10万円) 第47回日本麻科学会支援(10万円) 第10回日本小児科麻科学会支援(10万円) 第10回日本小児科麻科学会支援(10万円) 第10回日本小児科麻科学会支援(10万円)
事業費	300,000	110,000	△190,000	藤田学園同窓会セミナー支援(10万円) 私立大学同窓会連合会会費 50周年記念事業寄付金5,000,000円 いよいよ10月 第10回日本小児科麻科学会支援(10万円) 第10回日本小児科麻科学会支援(10万円)
	5,000,000	5,000,000		
	120,000	280,000	160,000	
	100,000	100,000	0	
機関紙発行費	4,000,000	2,960,790	△1,039,210	
広報・通信費	1,000,000	942,501	△57,499	はがき代、切手代等
名簿作成引当金	1,000,000	1,000,000	0	振込料、コピー代等
総務費	600,000	440,925	△159,075	
奨学金基金	500,000	500,000	0	個人情報購入し保険掛け金 30,000円
記念事業基金	4,000,000	4,000,000	0	藤田学園同窓会奨学金基金積立
同窓会館維持運営費	1,000,000	0	△1,000,000	50周年記念事業積立基金積立
予備費	2,000,000	0	△2,000,000	
当期支出合計	20,420,000	15,709,146	△4,710,854	
当期末繰越金	1,454,538	5,632,340	4,177,802	
合 計	21,874,538	21,341,486	△533,052	

平成20年度 藤田学園同窓会収支予算

自 平成20年10月10日
至 平成21年10月9日

科 目	予算額	平成19年度決算額	摘 要
会費収入 医学部	3,270,000	3,240,000	109名
会費収入 医療科学部	13,320,000	8,070,000	444名
会費収入 短大	0	3,840,000	入学生なし
会費収入 看護学	1,200,000	1,950,000	40名
雑収入	30,000	26,948	
前年度繰越金	5,632,340	4,214,538	
合 計	23,452,340	21,341,486	

支出の部

科 目	予算額	平成19年度決算額	摘 要
会議費	200,000	74,930	総会、役員会等7回
助成費			
支部設立助成費	100,000	0	
部会助成費	200,000	0	
学術費	300,000	300,000	学会援助金等
事業費	150,000	110,000	私立大学同窓会連合会等
	5,000,000	5,000,000	50周年記念事業寄付金
	120,000	280,000	いよいよの広場コンサート後援
	100,000	100,000	医療科学部50周年記念事業支援(H21.2.7予定)
機関紙発行費	4,000,000	2,960,790	機関紙等
広報・通信費	1,000,000	942,501	総会案内等
名簿作成引当金	200,000	1,000,000	
総務費	500,000	440,925	
奨学金基金	2,000,000	500,000	
記念事業基金	4,000,000	4,000,000	50周年記念事業基金積立
同窓会館維持運営協力費	500,000	0	
同窓会館維持管理費	500,000	0	
ホームページ管理費	1,000,000	0	ホームページリニューアル
予備費	2,000,000	0	
次年度繰越金	1,582,340	5,632,340	
合 計	23,452,340	21,341,486	

<平成20年度藤田学園同窓会役員>

顧問	監事	評議員	理事	副会長	会長
			庄溝吉黒松 田口川田井 小 良哲 俊 基順史誠和	近松 均	医学部
	内藤 健晴	松山 裕亨			
	伊白大橋 藤川 鮎二	山杉南山西中杉山酒楠吉茂原 崎戸 本井村本田井原川田田田小	伊藤 嘉延		医療科学部
	坂柳田 祐隆介正	須原 健助進	刑井高岡浅堀長川今井 平橋村野 谷井洋一	坂田 実	短大
	井手 富彦	長谷川義美博	竜石 千弘 里子	沖田 洋治	看護学
	高木井三 土井つる美	藤小島 美美子	丸野本小東小 山松田野 園	津田 豊彦	看護学
	竹内 辰之	松本 敏明	杉柁 山植 賢宏 祐憲	兼田 道男	看護学
	山上潤正 一樹	水谷 公司	村及大伊丹阿川鈴瀧杉伊都小伊水 田部塚藤羽村木山 藤松松藤野 由 美	山田 将之	看護学

平成19年度 藤田学園同窓会奨学金基金収支計算書

自 平成19年10月10日
至 平成20年10月9日

収入の部	予算額	決算額	増 減	摘 要
一般会計より	500,000	500,000	0	
返還収入	1,000,000	1,524,000	524,000	(平成19年度 返還者:6名分) 利息 16,698円 寄付 200,000円 (平成19年度合同贈答会参加費)
雑収入	10,000	216,698	206,698	
前年度繰越金	19,199,011	19,199,011	0	
合 計	20,709,011	21,439,709	730,698	

支出の部	予算額	決算額	増 減	摘 要
奨学金貸与	2,500,000	3,240,000	740,000	4名
雑費	2,000	2,520	520	(平成19年度:振込料6件)
次年度繰越金	18,207,011	18,197,189	△9,822	
合 計	20,709,011	21,439,709	730,698	

平成19年度 藤田学園同窓会奨学金基金収支計算書

自 平成19年10月10日
至 平成20年10月9日

収入の部	予算額	決算額	増 減	摘 要
一般会計より	500,000	500,000	0	
返還収入	1,000,000	1,524,000	524,000	(平成19年度 返還者:6名分) 利息 16,698円 寄付 200,000円 (平成19年度合同贈答会参加費)
雑収入	10,000	216,698	206,698	
前年度繰越金	19,199,011	19,199,011	0	
合 計	20,709,011	21,439,709	730,698	

支出の部	予算額	決算額	増 減	摘 要
奨学金貸与	2,500,000	3,240,000	740,000	4名
雑費	2,000	2,520	520	(平成19年度:振込料6件)
次年度繰越金	18,207,011	18,197,189	△9,822	
合 計	20,709,011	21,439,709	730,698	

平成20年度 藤田学園同窓会

奨学金基金収支予算

自 平成20年10月10日
至 平成21年10月9日

収入の部	予算額	平成19年度決算額	摘 要
一般会計より	2,000,000	500,000	
返還収入	1,000,000	1,524,000	(平成19年度 返還者:6名分) 利息
雑収入	10,000	216,698	
前年度繰越金	18,197,189	19,199,011	
合 計	21,207,189	21,439,709	

支出の部	予算額	平成19年度決算額	摘 要
奨学金貸与	3,600,000	3,240,000	
雑費	2,000	2,520	振込料
次年度繰越金	17,605,189	18,197,189	
合 計	21,207,189	21,439,709	

藤田学園同窓会定款

平成十五年十月二十五日承認、平成十六年十月十日より施行

(名 称) 第一条 本会は、藤田学園同窓会と称する。
第二条 本会は、主たる事務所(本部事務局)を愛知県豊明市番掛町田楽ヶ窪一番地九八：藤田保健衛生大学内に置く。
(構 成) 第三条 本会は、藤田保健衛生大学医学部同窓会(医学会)、同医療科学部同窓会、藤田保健衛生大学短期大学同窓会、藤田学園医学技術専門学校同窓会、藤田保健衛生大学看護専門学校同窓会、藤田コンピュータ専門学校同窓会、および藤田保健衛生大学リハビリテーション専門学校同窓会の各部会をもって構成されるが、各部会の独自の活動は尊重する。
(目 的) 第四条 本会は、会員相互の親睦を図り、医学・医療の諸領域における会員相互の連絡・研修を行い、その充実発展と医学・医療に従事する者の教育・資質向上に寄与し、かつ総合医療教育機関である学校法人藤田学園を後援することを目的とする。とともに、その目的に資するた一 機関誌、会員名簿の発行 二 研修会および研究会の開催 三 奨学金の貸与および研究費の授与 四 その他、前各号に掲げる事業に付帯または関連する事業
(入 会) 第五条 本会の会員は、次のとおりとする。 一 普通会員 一 学校法人藤田学園が設置した教育機関の卒業生 二 学生会員 一 前項の教育機関の在学学生 三 特別会員 一 第一項の者を除く学校法人藤田学園の教職員またはかつて教職員であった者で、入会を希望し総会で承認された者。
(員 数) 第六条 本会には、次の役員を置く。 二 副会長各部会よりそれぞれ一名以内 三 理事各部会よりそれぞれ十五名以内 五 評議員各部会よりそれぞれ二名以内 六 監事各部会よりそれぞれ二名以内
(任 務) 第七条 本会の役員の任務は、次のとおりとする。 一 会長は、会務の全てを統括する。 二 副会長は、会長を補佐し、会長不在時にはその任務を代行する。 三 理事は、会務を遂行する。 四 代表理事は、対外的会務遂行にあたっては中心的役割を果たす。 五 評議員は、会務の遂行に協力し、会務運営に対する意見を述べ、六 監事は、理事会提出の計算書類・決算書の会計監査などを行う。
(選 出) 第八条 会長は、各部会の推薦を受けた者の中から理事会において選出し、総会で承認する。 二 副会長は、各部会の同窓会長がある。ただし、会長に選任された場合は空席とする。 三 理事ならびに評議員は、普通会員のうちから理事会において選出し、総会で承認する。 四 代表理事は、理事の中から理事会で選任する。 五 監事は、総会において選任する。 六 顧問は、必要に応じて理事会で選任する。
(任 期) 第九条 会長の任期は、一期二年間とする。二回の再選を認める。 二 監事の任期は四年間とする。再選を妨げない。 三 その他の役員の任期は、一期二年間とする。再選を妨げない。 四 全ての役員は、任期満了といえども、後任者が選任されない場合はその任務を履行する。
(総 会) 第十条 総会は、本会の最高決議機関である。 二 定時総会は、毎年一回、十月に開催するものとする。 三 定時総会では、次期一年間の本会の活動概要と予算を決定する。 四 臨時総会は、会長が必要と認めたとき、または理事会で議決されたときに開催する。 五 総会での議決は、各普通会員一個の議決権を有し、出席者の過半数の賛成・支持をもってなされる。
(理事等) 第十一条 理事会は、本会の最高事務執行機関である。 二 理事会は、会長、副会長、理事、代表理事で構成し、必要に応じて顧問に意見を求める。 三 定例理事会は、原則として毎月一回開催するものとする。 四 臨時理事会は、会長が必要と認めたとき、または理事の過半数の求めにより開催することができる。 五 理事会での議決は、出席者の過半数の賛成・支持をもってなされる。 六 理事会は、年間活動報告と会計報告を定時総会に行い、承認を得なくてはならない。
(評議員会) 第十二条 評議員会は、本会の最高諮問機関である。 二 評議員会は、会長が招集し、重要な会務を評議する。
(支 部) 第十三条 支部は、別に定める要領での申請を受けて理事会で議決されたものを、総会での承認を経て設立することができる。 二 本会ならびに本学の品位を著しく損なう行為のあった場合、総会の議決を経てその支部を解散させることができる。
(会 費) 第十四条 本会の経常費は、会費、寄付金、その他をもって充てて。 二 本会の会計年度は、毎年十月十日から翌年十月九日までとする。
(会費・経費の負担) 第十五条 会費は、本会の会務遂行のために使用される。 二 普通会員は、別に定める要領にて会費を納入するものとする。
(退 会) 第十六条 本会ならびに本学の品位を著しく損なう行為のあった場合には、総会の議決をもってその会員を退会させることができる。
(役員(の退任) 第十七条 本会の役員が会務を遂行できない場合には、総会の議決をもってその役員を退任させることができる。
(解 散) 第十八条 本会は、総会での議決、普通会員の過半数の賛成・支持、解散を命じる裁判などにより解散する。
(定款等の変更) 第十九条 定款は、総会での議決を得なければ変更することができない。 二 細則は、理事会での議決により制定・変更ができるが、当該年度の定時総会で報告し、承認を受けなければならない。承認が得られない場合は、理事会での議決は無効となり、その細則は次年度より適用できない。

附 則

一 この定款は平成十五年十月二十五日承認、平成十六年十月十日より施行する。 二 平成二〇年十月二十五日一部改訂

藤田学園同窓会細則

平成十五年十月二十五日承認、平成十六年十月十日施行

(目 的) この細則は藤田学園同窓会定款により藤田学園同窓会活動を進める上で必要な事項を定めるものである。
第一章 事業 第一条 機関誌は、原則として年一回刊行する。 二 機関誌名を「あけぼの杉」とする。
第二条 会費は、原則として五年に一回刊行する。 第三条 奨学金の貸与は、奨学金担当理事が中心となり調査を行い、その結果に基づいて理事会で可否を決定する。 第四条 研究費の授与は、学術担当理事が中心となり調査を行い、その結果に基づいて理事会で可否を決定する。
第二章 理事会 第一条 各部会とは少なくとも一名を、理事会に出席させなければならない。 二 委任状をもって出席に替えることができる。 第三条 理事会には、次の委員会を置くことができる。 一 総務委員会 二 事業委員会 三 機関誌委員会 四 名簿委員会 五 学術委員会 六 支部委員会 七 奨学金委員会 二 その他、必要に応じて特別委員会を設ける。
第三条 理事会には、顧問、監事、評議員、各委員会委員長が立会人として出席することができる。
第三章 評議員会 第一条 各部会とは少なくとも一名を、評議員会に出席させなければならない。 二 委任状をもって出席に替えることができる。
第四章 支部会 第一条 支部は、原則として都道府県単位で設置するものとする。 二 名称は、「藤田学園同窓会〇〇支部」とする。 第二条 支部を設立しようとする場合は、支部長、その他役員、および賛同者(支部会員の名簿、支部会費、趣意書などの書類をもって、会長に申請する。 二 支部設立には、少なくとも五名の普通会員の賛同者(支部会員)を必要とする。 第三条 支部長は、評議員会に出席することができる。
第五章 会費 第一条 普通会員は、各部会入会時に金3,000円を納めるものとする。 二 学校法人藤田学園の設置した教育機関を中途退学する場合、求めに応じて納入金を返還する。 二 その他の理由による納入金返還要求には応じない。
第六章 研究費の授与に関する事項 第一条 研究費の授与は、研究費授与委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 二 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 三 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 四 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 五 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 六 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 七 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 八 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 九 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 十 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 十一 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 十二 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 十三 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 十四 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 十五 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 十六 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 十七 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 十八 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 十九 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 二十 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 二十一 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 二十二 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 二十三 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 二十四 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 二十五 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 二十六 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 二十七 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 二十八 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 二十九 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 三十 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 三十一 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 三十二 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 三十三 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 三十四 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 三十五 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 三十六 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 三十七 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 三十八 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 三十九 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 四十 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 四十一 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 四十二 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 四十三 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 四十四 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 四十五 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 四十六 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 四十七 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 四十八 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 四十九 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 五十 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 五十一 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 五十二 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 五十三 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 五十四 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 五十五 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 五十六 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 五十七 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 五十八 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 五十九 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 六十 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 六十一 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 六十二 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 六十三 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 六十四 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 六十五 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 六十六 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 六十七 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 六十八 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 六十九 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 七十 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 七十一 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 七十二 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 七十三 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 七十四 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 七十五 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)の調査に基づき、理事会において審議し、会長の承認を得るものとする。 七十六 研究費の授与は、研究費委員会(以下「研究費委員会」という)

